



第19回「夏休みこども村 in 上野村」開催

～本物の大自然の中でおもいきり感動の体験をしてみましょう！～



8月1日（水）～3日（金）、埼玉県秩父市にて、平成30年度「夏休みこども村」を開催しました。「夏休みこども村」は、親元を離れた環境、また、学校も学年も違う子供同士が主体となり、私生活では機会のない体験活動を通して、自立心や協調性を養うことを目的としています。また、食卓にならぶ食材がどのような過程で生産されているのかを学び、その食材を実際に食べてみる事で様々な知識や考え方を育む食農教育の一環としての取り組みでもあります。

今年19回目となる「夏休みこども村」は、毎年多くの参加者があり、今年は小学校4～6年生あわせて21名が参加しました。

1日目は、流しそうめんの昼食や丸太切りとコースター作りの体験、上野ダムの見学、入村式後には地元野菜を使用したカレー作りを行いました。

2日目は、しいたけ収穫体験や神流川にて川遊びと魚つかみなど自然を満喫し、夜はキャンプファイヤー、花火を楽しみました。

最終日には、野菜の収穫とこんにゃく作りを体験し、閉村式後帰路につきました。

初めは、慣れない環境に緊張気味の子どもたちでしたが、様々な体験を通じてお互いに助け合う中で絆が深まり、たくさんの笑顔を見ることができました。3日間という短い時間の中で、出発前よりも逞しく成長したように感じました。参加者した6年生からは、「楽しい思い出ができました。来年参加できなくなるのがとても残念です。」との声を聞くことができ、保護者からも「心配だったが、参加させて良かったです。」との声を聞くことができました。

